

二十四番

他各省市協議セシテ官業労働組合ニ於テ軍ニ可決シテヨキヤ又提案者ニ各省市ノ賛成ヲ得ル見込アリヤ提案者ニ望ム

我が国團結シテ之ニ接シハハハ通過スルト思考サル當局ヲ経テハ六歩ハ到底不可成ト思ハレル

十五番

不統一ナル国家ノ政策ニ對シ我々ノ團結シタル政策ヲ政府ニ提出シテ当局ノ反省ヲ促シ度ト思フコトニ對シテ中央委員ノ意見ヲ質ス

番外番

各省ノ均等ハ不可成ト思ヒ提案ヲ謝絶シタルノ事リ法人化ノ問題ヲ海軍當局ニ於テ解決不可成ナル今日本問題ハ各省ヲ通ジテ可決ハ不可成ト思ハ處サレル

本問題ニ對シテハ政策トシテ又相当考慮ヲ要ス居ラルベト思フ

十五番ニ對シテハ新リテ置テ各省相ヒニ本問題ヲ解決シ居ルニハアササルヤト思ヒ上法

人任シテ先リ均等ヲ計ル先ツ工務規則ヲ改正スルハ要キヤ

十番

政府ヲ支拂フ重ナル以前各省ノ代表員ト會見シ協議シ上本問題ヲ進ナル方

九番

可成ト思ハレル依ツテ一番ノ説ニ賛成スル

八番

海工會提出ノ各省共済組合ノ比較表ニ依リテ承知サレ度シ目下ノ如時機向

四番

時期早尚ハ政府ノ政策ニ對シハ肯定ニ事ナラ故アリテ手段ヲ講ジテ本問題ノ促進ヲセヨ

三番

時機早尚ニ非ズニテ提案者ニ對シ他ノ方法ニ依ルベク決シテ時機早尚ニハ非ラサルト

二番

思ハル程案ヲ幾分修正シ上提出スルベク